

## 第20期第9回常任理事会議事録

日時 昭和54年6月21日(木) 15.00~18.20

場所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 内田, 植村, 奥田, 関根,  
新田, 松本, 増田, 山下.

## 報告

〔庶務〕 1. 6月13日, 日本学術会議学術情報研究連絡委員会, データ情報分科会内第7回 CODATA 国際会議準備委員会委員長から, 「第7回 CODATA 国際会議後援ならびに開催通知方についてのお願い」がきた。

2. 6月20日, 日本原子力産業会議, JIS 原子力用語検討委員会委員長武田栄一氏から, 「JIS原子力用語原案」に対する意見聴取についての文書がきた。

〔会計〕 4. 5月分の会計報告, そのほか次のとおり説明があった。

1. 予算書で印刷費を8%増で計上したが, 実際の値上がりは, 「天気」6.1%, 「気象集誌」4.6%, 「気象研究ノート」約6%である。

2. 年度途中において予算の組直しをする必要がある。総理府勧告により公益法人の会計基準に従って予算, 決算のアンバランスの手直しをしたい。

3. 55年度の第1次予算(案)は, 10月に作成することになるので, 各委員会とも8月中に計画資料を出していただきたい。

〔講演企画〕 春季大会の反省を行なった。

## 議題

- 100周年記念事業準備委員会の発足について いろいろ意見が取り交わされたが, 今後毎月の常任理事会の終わり30分間を記念事業実行計画のための打合わせに使い, 10月の秋季大会の時の全国理事会までに大枠を決め, 地方理事も含め正式に準備委員会を発足させることにした。なお, 100周年記念「天気」特別記念号(案)についてその後さらに検討した結果が, 内田常任理事から報告があった。
- 山本賞の賞牌について デザイン等について, 山本義一名誉会員に岸保理事長から問い合わせることになった。

## 3. その他

(1) 山本賞について 5月23日に行なわれた総会の席上で質問のあった, 山本賞受賞者選定規定の第2項の「審査委員」については, 「審査」の2字を削除することとした。

(2) 第7回 CODATA 国際会議後援ならびに開催周知方について 経費の分担もないので, 後援ならびに開催要領を「天気」に告示することを了承した。

(3) JIS 原子力用語原案について JIS 原子力用語検討委員会委員長からの本件に対する意見聴取については, 増田常任理事が気象研究所の関係者に依頼することとした。

(4) 気候変動シンポジウムについて 本件については, 昨年に引き続き本年も12月に開催する予定にしていた。一方, 国際的にもこの問題の重要性が強調され, 本年2月ジュネーブで世界気候会議(WCC)が開かれ, さらに去る5月のWMO総会で, 世界気候計画(WCP)が決定された。国内でも, 日本学術会議地球物理研究連絡委員会内に気候小委員会(委員長山元竜三郎会員)が作られ, 気候変動の研究の進め方について論議し, 気候変動のシンポジウムが検討されていた。また, 文部省特別研究「環境科学」気候変動と人間活動検討班(責任者山本義一会員)でもこの種のシンポジウムが計画され, 話題提供者の人選まで進み, 8月24日に開催される運びになっているとのことである。これに対し, 気象学会で実施予定の計画との調整をいかにするかについて議論がでた。その結果, もし12月に行なう予定のものを8月に繰り上げることを山元理事が了承すれば, また, このシンポジウムを「研究ノート」で取り上げることを山本義一氏が了承すれば, 上記三者の共催で行なえればすっきりするのではないかとのことで, 岸保理事長が両者に交渉することになった。

(5) 秋季大会の参加費等について 当番である九州支部から, 参加費懇親会費の払込みを郵便振替用紙(「天気」に綴込み)で行なえるようにして欲しいとの申し出があり, はじめての試みとして一応了承することにした。

承認事項 安部信一ほか41名の新入会員を承認。